

■□要旨■□

1. 経験・薫陶・研修

- ・リーダーシップを身につけていくのに有用な出来事は、「自分の経験」、「上司の行動観察などによる薫陶」、「コンセプト・理論を学ぶセミナーや研修」。
- ・経験：薫陶：研修＝70：20：10（米国ロミンガー社の調査）

<経験>

- ・仕事上の経験ばかりではなく子供や学生時代の経験からの影響、どんな教訓があったか。

<薫陶>

- ・経験の中で出会った人からの刺激・教訓（直属の上司、社長直轄プロジェクト、同期、取引先の社長など）。
- ・その場で言語化されていなくても言語的なヒントがある。

<研修>

- ・悩んでいて希望を持って探していたものに研修・セミナーで合致するものに触れると一皮むける。
- ・様々な場面での言動が理論とつながれば比率は10%でも残りの90%の宇宙とつながっていく。

2. 経験と薫陶を理論につなげる

- ・経験と薫陶を振り返ることと学びの場を結びつけられれば大きなパワーとなり、その後のアクションが揺るぎないものとなる。
- ・一皮向けた経験の連鎖と出会った人からの教訓があり、セミナーや研修の機会にそのコンセプト・理論に出会えるとよい。
- ・強い理論の意味は役に立つ良い理論。

3. リーダーシップの研究

- ・国、調査対象、学者が違ってもリーダーの行動次元の根っこは人にまつわる次元と課題にまつわる次元。一ビジョン・戦略・仕組み・タスクと思いやり・配慮など気持ちのメンテナンス。
- ・東海バネ工業はしっかりとしたSPと詰められたOEがあり、しかも渡辺社長の人を大事にする経営がある。

4. 東海バネ工業渡辺社長の経験

- ・溶接職人の次男として生まれ、父親が独立して鉄工所を経営。住み込みで丁稚奉公している中学を卒業したばかりの自分と同年代の人たちを見て、「ああ気の毒やなあ、哀れやなあ」と強烈な印象を持つ。
- ・そのような仕事をしている人を幸せにしてやりたいというような想いが、その当時、心の中に形づけられていった。

■□今回の学び ひとことというと■□

経験と薫陶を学びにつなげられれば確固たるパワーとなる

様々な方々の話・理論を聞いて、自分との違い、自分への置き換えなどを考え認識することも有益



■□感想■□

リーダーシップを発揮できるかは、その人がそれまでに生きてきた経験によるところがやはり大きいと思います。一方で、人はみなリーダーシップの要素を有しており、ただそれを発揮する領域までの距離が異なっているため、無意識にリーダーシップを発揮できる人と、そうではない人がいるのではないのでしょうか。